

放射能関係のお知らせ

2017年10月3回(B週)
 お届け日:2017/10/16~10/20
 発行日:2017/10/2



本誌は、カタログ掲載の青果について、2017/9/28(木)午前中までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況	
果実	巨峰・ピオーネ	品目で検査済	青木・中野・ながの
	キウイ	品目で検査済	狭山・久望
		検査予定	やはた会
	梨	品目で検査済	夢みなみ・うもれ木の会・ふくしま梨ネット・うつのみや・上伊那
		ぶどう類で検査	あいづ・ふえふき・フルーツ山梨・青木・ながの・中野
	みかん	品目で検査済	小田原・久望
	りんご	品目で検査済	八峰園・ゴールド農園・雄勝・天童・米沢郷・錦の会・さみず・青木・サンファーム・中野
果菜	青大豆	品目で検査済	花咲
	いんげん	品目で検査済	あいづ・二本松・元気会
		果菜類で検査済	谷田部・たまつくり・佐久ゆうき
	かぼちゃ	果菜類で検査済	佐久ゆうき
	きゅうり	品目で検査済	夢みなみ・あいづ・みちのく野菜・サンド旭・和郷・いちかわ
		果菜類で検査済	谷田部・たまつくり・野菜くらぶ・沃土・佐原
		検査予定	新しいわて・八千代・邑楽館林・村悟空
	トマト	品目で検査済	八峰園・あいづ・みちのく野菜・谷田部・たまつくり・佐原・野菜くらぶ・葉菜野菜・サンド旭・元気会
		果菜類で検査済	夢みなみ・沃土
		検査予定	村悟空
	なす	品目で検査済	沃土
		果菜類で検査済	谷田部・たまつくり・野菜くらぶ・八街・佐原・和郷
検査予定		八千代	
ピーマン	品目で検査済	和郷	
	果菜類で検査済	あいづ・谷田部・沃土・八街	
	検査予定	八千代	
ミニトマト	品目で検査済	庄内たがわ・あゆみの会・サンド旭・和郷・ながの	
	果菜類で検査済	あいづ・野菜くらぶ・沃土・八街・佐原・佐久ゆうき	
	検査予定	八千代・元気会・村悟空	
葉菜	大葉	葉菜類で検査済	和郷
	かき菜	葉菜類で検査済	谷田部・沃土
	キャベツ	品目で検査済	土屋
		葉菜類で検査済	谷田部・八千代・常総産直研・野菜くらぶ・和郷・佐原・菅平・トップリバー・ハケ岳モグラ会
		検査予定	たまつくり・八街・海上
	小松菜	品目で検査済	葉菜野菜・野菜くらぶ・群馬モグラ・南埼玉・風土の会
		葉菜類で検査済	谷田部・有機農法ギルド・やさと・沃土・草の会・佐原
		検査予定	たまつくり・八街
	サニーレタス	葉菜類で検査済	谷田部・やさと・八千代・常総産直研・野菜くらぶ・沃土・和郷・菅平・トップリバー
		検査予定	八街・海上
	春菊	葉菜類で検査済	夢みなみ・レインボー・沃土・村悟空・佐原・グットファーム
	検査予定	たまつくり・八街	

分類	品目名	放射能検査の状況	
葉菜	チンゲン菜	品目で検査済	あゆみの会
		葉菜類で検査済	葉菜野菜・沃土・佐原・和郷・遠州
	にら	品目で検査済	元気会
		葉菜類で検査済	葉菜野菜・野菜くらぶ・和郷
	ねぎ	品目で検査済	谷田部・たまつくり・沃土・南埼玉
		葉菜類で検査済	利根川・村悟空・佐原・有機農法ギルド・やさと・風土の会
		検査予定	八千代・八街
	白菜	葉菜類で検査済	谷田部・常総産直研・野菜くらぶ・菅平・トップリバー・ハケ岳モグラ会
		検査予定	八千代
	ブロッコリー	品目で検査済	あいづ・夢みなみ・谷田部・常総産直・八千代・野菜くらぶ・沃土・八街・海上・佐原・和郷・菅平
		検査予定	みちのく野菜・村悟空・サンド旭
		ベビーリーフ	品目で検査済
ほうれん草	品目で検査済	新しいわて・あいづ・常総産直・栃木開拓・草の会	
	葉菜類で検査済	谷田部・たまつくり・利根川・野菜くらぶ・沃土・佐原	
	検査予定	八千代・八街	
みず菜	葉菜類で検査済	谷田部・葉菜野菜・沃土・佐原	
ミックスカールスプラウト	品目で検査済	フェニクス	
ルッコラ	葉菜類で検査済	葉菜野菜・沃土・南埼玉・和郷	
レタス	品目で検査済	やさと・野菜くらぶ・菅平・トップリバー	
	葉菜類で検査済	谷田部・八千代・常総産直・沃土・南埼玉・サンド旭・佐原・和郷	
	検査予定	八街	
若芽ひじき	検査予定	寺島	
かぶ	根菜類で検査済	たまつくり・八千代・沃土・佐原	
	検査予定	谷田部・八街	
ごぼう	品目で検査済	利根川	
	根菜類で検査済	常総・谷田部・たまつくり・やさと・有機農法ギルド・葉菜野菜・和郷・佐原・風土の会	
里芋	根菜類で検査済	常総・谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・佐原・八街・風土の会	
	検査予定	八千代	
さつまいも	根菜類で検査済	常総・谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・葉菜野菜・佐原・和郷・風土の会	
	しょうが	品目で検査済	和郷
大根	検査予定	村悟空	
	品目で検査済	ゆうき青森・葉菜野菜・野菜くらぶ	
	根菜類で検査済	谷田部・八千代・沃土・和郷	
長芋	検査予定	たまつくり・村悟空・佐原・八街	
	人参	品目で検査済	風土の会
にんにく	根菜類で検査済	谷田部・葉菜野菜・和郷・清瀬・グットファーム	
	検査予定	たまつくり・村悟空・佐原・八街	
れんこん	品目で検査済	八峰園・田子	
	品目で検査済	常総・たまつくり・新ひたち野・あゆみの会・佐原	

●青果以外の牛乳・牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。*酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

●きのこ類

放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況	
えのき茸	品目で検査済	飯山
エリンギ	品目で検査済	小川きのこ・南伊豆・渡辺きのこ
生きくらげ	品目で検査済	きのこ総研
しめじ(ひらたけ)	品目で検査済	谷田部
なめこ	品目で検査済	谷田部
ぶなしめじ	品目で検査済	谷田部
まいたけ	品目で検査済	雪国
谷田部の若手生産者きのこセット	品目で検査済	谷田部 *生しいたけから放射能が検出されました。

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2017/9/13	3.1
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
谷田部の若手生産者きのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

*9/20・27の検査では生しいたけ(原木栽培)からの放射能の検出はありませんでした。

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコ 363	しょうが香る鶏白湯	2017/7/31	3.0
きなり 309	鍋セットのしいたけ		
コトコ 111333	食べきり寄せ鍋セットのしいたけ	2017/9/13	3.1
きなり 300			
きなりセレクト 341088			
コトコ 351	担々マーボー豆腐	2017/4/24	3.3
きなり 306	ットのしいたけ		
コトコ 362	香ばしあんかけ焼き	2017/4/24	3.3
きなり -	そばセットのしいたけ		
コトコ 111309	白身魚のきのこあん	2017/4/24	3.3
きなり 112194	かけセットのまいたけ		
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
120粒:185523	ブルーベリー&ルティン	2016/11/1	6.5
240粒:185531			
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

●青果の検査について

*北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県)の本州17都府県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。
 *旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになります。それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。
 *検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。
 *yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値1Bq/kgで検査を行っています。

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップエンドウなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・莖菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

放射能入門講座 3-1

過去に掲載しました放射能入門講座を一部修正して再掲いたします。

放射能汚染はいつまで続くの？

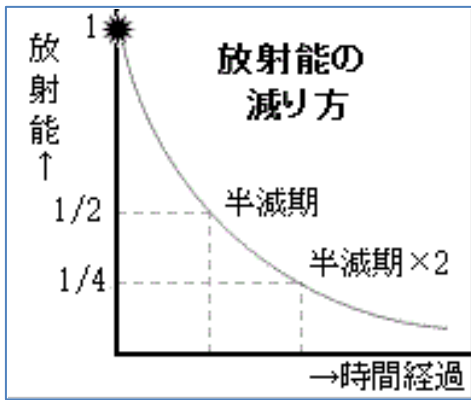
放射能は放射線を出しながら減っていきませんが、放射能の種類(核種)ごとに半減期が決まっています。半減期ごとに半分、また半分…、というように減ります。

半減期が短いヨウ素 131 はすでに残っていませんが、セシウム 134 は 10 分の 1 ほど残り、セシウム 137 は 86%程度が残っています。

セシウム 137 が 1000 分の 1 になるまで 300 年かかります。

放射能は中和したり分解したりできないので、除染は放射能を別の場所に移すか、その場所で適切に隔離することを意味します。

未だに放射性廃棄物の中間処分場が確保されていないという問題がありますが、放射能の影響(被曝)を減らすため、生活環境や農地の除染を積極的に実施することが必要です。



体内に放射能が取り込まれたときの被曝、すなわち内部被曝では、破壊力の大きなアルファ線やベータ線を全部そのまま被曝してしまいます。

そのため、外部被曝より内部被曝の影響が大きいと指摘する専門家もいます。そうしたことがあるので、パルシステムでは食品の放射能について、可能な限りの低減を目指さなくてはならないと考えています。

外部被曝も大きな問題

東京電力原発事故による放射能汚染が高い地域では、推定される住民の外部被曝量が、一般人の被曝限度である年間1ミリシーベルトの数倍にもなっています。

こうした状態が放置されているのは大変な問題です。早急な対策が必要です。

行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第 1050)」(2017/3/19~2017/9/8 で採取・購入された検体検査)より、国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体上位数件です。

シイタケ: 茨城県行方市・栃木県宇都宮市ほか	4~46Bq/kg
ホウキタケ: 茨城県常陸太田市	14~22Bq/kg
ウナギ: 茨城県霞ヶ浦(北浦)・牛久沼	22~32Bq/kg
アメリカナズ: 茨城県霞ヶ浦(西浦)	32Bq/kg
ギンブナ: 茨城県霞ヶ浦(西浦)	25Bq/kg
ヒメマス: 栃木県日光市(中禅寺湖)	41Bq/kg
アユ: 宮城県丸森町(阿武隈川)ほか	34~6.3Bq/kg
イノシシ肉: 宮城県丸森町・白石市ほか	12~59Bq/kg
ツキノワグマ肉: 宮城県栗原市ほか	18~49Bq/kg
乾燥シイタケ: 茨城県行方市・宮城県仙台市	10~45Bq/kg

- 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 以上検出された検体です。

イノシシ肉: 福島県郡山市ほか 160・190・210Bq/kg
ニホンジカ肉: 福島県郡山市 180Bq/kg

基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された上位数点です。

サクラシメジ: 福島県南会津町	30~49Bq/kg
アユ: 福島県福島市(阿武隈川水系)ほか	20~52Bq/kg
ヤマメ: 福島県桑折町	55Bq/kg
梅干し: 福島県大玉村	43Bq/kg
ツキノワグマ肉: 福島県磐梯町ほか	30~99Bq/kg
イノシシ肉: 福島県須賀川市ほか	7.6~91Bq/kg

山のほとんどが除染を行っていないため、放射能の減衰が自然の状態に任されています。集積しているところと少なくなっているところがありますが、状況はきちんと把握できていません。

栽培管理を行っていない山で採取した山菜や検査を行っていない山菜は放射能が心配されます。山菜は十分に注意をしましょう。また、ジビエや天然淡水魚も注意が必要です。

9月の放射能検査状況

9月の検査は 22 日まででした。しいたけからしいたけ(原木栽培)から 2 件(3.1、6.1Bq/kg)の検出がありました。乳幼児用食品は、検出下限値を2016年4月から1Bq/kg に下げましたが、現在まですべて不検出です。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	9月	9月の検出内容	9月
青果	29(0)		卵 0(0)
しいたけ	3(2)	しいたけ(原木栽培) 3.1、6.1 Bq/kg	魚介類 20(0)
その他のきのこ類	18(0)		飲料水・飲料 5(0)
米・米飯類	17(0)		乳幼児用食品 8(0)
牛乳・乳製品	0(0)		その他加工食品 139(0)
肉類	1(0)		合計 240(2)

2017年度の放射能検査の状況(2017年4月~2017年9月)

青果	今年度は青果・果物からの検出はありません。
しいたけ、他のきのこ	しいたけが(3.1~15Bq/kg)放射能が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2017年産米の検査を開始いたしました。千葉県JA君津の千葉ふさおとめから検査をスタートしました。7産地17検体の検査が終了し、不検出でした。新米検査は順次行います。重点産地については各産地より複数の検体を検査を行います。それ以外の産直産地については、一産地一検体で検査を行います。複数の銘柄を出荷している場合でも、一検体となります。 *放射能はぬか部分に多く蓄積するため、玄米で検査をおこなっています。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値 1Bq/kg で検査を行い、すべて不検出です。
その他加工食品	<お料理セット> 野菜と肉を含めて毎月各メーカーごとに1検体の検査を行っています。2017年より yumyum での掲載が開始され、検出下限値は1Bq/kgで行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮(3.1~11Bq/kg)、まいたけ水煮(3.2Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。
	<大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、2014年産~2016年産原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものがありますが、放射能は検出されていません。
	<乾物> 2017年7月に岩手県産乾燥しいたけ(5.0Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。

パルシステムの放射能検査について

●検出限界について

高性能に放射能を計測できるゲルマニウム半導体検出器を2台導入して計測しています。yumyumおよび赤ちゃん&KidsのOK食品としている乳幼児用食品については、検出下限値を1Bq/kgまで検査しております。

検出限界(セシウム 134, 137 それぞれ)		
2016年4月1日から新基準に変更		
	新	旧
乳幼児用食品	1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	

●放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以東の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物

●独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行いません。

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム 134, 137 の合計)			国の規格基準
2014年10月より現行基準			
	現	旧	
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳幼児用食品、牛乳 50
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50	一般食品 100
しいたけ	100	100	

*乾燥食品は生原料や摂取状態で検査します。(単位 Bq/kg)
*乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。